



来住郵便お知らせ 検索

来住邸でセミナー開催！  
旅して健康になる方法  
1月12日(日) 14時～15時

◆1月 足立宗男 旅のスケッチ展  
4年間で1500km歩いて描いた  
旅の記録  
1月5日(日)～13日(月)祝



キリスト教三大巡礼地のひとつ、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂。フランスからスペインまでの巡礼路約1500kmを徒歩で移動しながら描きためたスケッチや油絵など約30点を展示されます。足掛4年に渡る、4度の旅の記録は必見。(P)

森のり写真展 1月16日(木)～30日(木)  
女性単独ツリーング世界3周の記録  
亡き友人との約束で始まった森さんの海外バイク旅。アメリカ50州の走破を皮切りに、ユーラシア大陸・南アメリカ大陸・アフリカ大陸などを横断。総訪問国は81カ国、走行距離23万kmにのぼり、その道中で撮られた写真が展示されます。タイミングが良ければご本人から直接、冒険のお話が聞けるかも？(P)



第16回来住邸  
新春子ども書き初め大会  
書き初め作品展 1月5日(日)～31日(金)

幼児 たけ  
小1 はいわ  
小2 はつ日  
小3 金メダル  
小4 千代の光  
小5 六年生だ  
小6 希望の春  
中1 東天初光  
中2 若人の意気  
中3 自立の精神  
◆当日、9時30分～11時30分の時間内にお越しください。参加無料。※幼児は5、6歳児が対象。◆書道用具一式と、古新聞(下敷き用)をご持参ください。◆受付後、用紙を3枚お渡しいたします。そのうち1枚だけを提出してください。手本の持ち込みや会場内での練習はできません。付き添いの方は会場に入場できません(庭内は可)。◆参加者に焼きいもプレゼント!

◆2月 天野潮彦 小品展  
2月1日(土)～13日(木)



天野潮彦さんのサムホールハガキ2枚分大の作品が展示される小品展です。花や果物、日常にある小物などを描いた静物画を中心に約15点の作品が並びます。まるで本物のように見える素敵な作品ばかりです。(め)

小松原ケンスケと仲間展5  
2月15日(土)～28日(金)



第5回目となる小松原ケンスケさんと、芸術仲間による絵画作品展です。「はじけるミクストメディア」をテーマに現代美術をリードする約40点をはじめ、小立体作品や風景も展示、受け身では理解できない現代美術をぜひご覧下さい。(め)

◆3月 西嶋初美 一閑張り・着物リメイク展  
3月1日(日)～12日(木)



一閑張りとは竹や木で組んだ骨組みに和紙を張り重ねて形を作り、柿シンプや漆を塗り防水、防腐、補強した紙漆細工。今回はバッグ、市場カゴ、和傘、竹箱など約20点を展示。着物リメイクは約10点あり高価な生地を着物をドレス、コート、チュニック、パンツなどにリメイク。(芋焼酎)

西脇貴子作品展  
私の集大成・刺繍・染色・一閑張り  
3月14日(土)～29日(日)

メインの刺繍が約10点、麻の布に300種類もある糸の中から選び絵や文字を刺繍します。二枚屏風の源氏物語や衝立の紫式部の作品は必見で制作期間は数年とも。染色は約5点。桂小五郎を京で世話した「幾松」を描いた作品などがあります。(芋焼酎)

第十九話 たった舟の話

# 津万の厄神さん

大津神社宮司 宮田和昭  
宮総代三役 松岡敬文 片岡徹 稲垣富司



津万地区七町の総氏神、大津神社をご存じでしょうか。嶋の交差点からすぐの国道175号線沿いに大樹の茂る杜が見え、正面の鳥居はそこから玉垣の外周をぐるっと回った反対側にあります。国道から一筋入っただけですが、とても静かで厳かな雰囲気。はるか奈良時代から悠久の時を刻み続ける古いお社です。

「津万の厄神さん」と呼び親しまれる通り、当社が一年で最も賑わうのは、毎年2月18日、19日に行われる厄除大祭。例年2000人を超える人出となります。

子どもの頃は露店もずらっと並んでもっと賑やかでした。今はもうなくなりましたが、厄年の人が御祈禱後にお金を撒く「厄払いの投げ銭」の慣わしがあつて、子どもらがごぞつてお金を拾ったものです。多くは十円玉や五円玉などの小銭。中には一円玉ばかりを袋いっぱいにつけてくる人、百円玉や五百円札も混ぜた太っ腹な人、厄年じゃないよという顔で近づいてきて突如バァーッと投げつけて子どもを驚かせる人もいました。拾うのは小中学生で、小学生は身体の大きい中学生にどうしても競り負けてしまふ。だから小学生の頃は早く中学生になりたいたいと思つてましたね。上級生に飛ばされて転んでも痛くないように、投げ銭



※祈禱料五千円(税込)

をする場所の土を備中鍬でかじいて(耕して)おいたりもしてました。拾つたお金で露店のおでんを食べたのもいい思い出。アツアツでね、おいしかった。

最近はおでんの露店は見ませんが、からあげ、カステラなど四軒ほどは出ます。夕方16時から両日とも餅まきがありますし、8時～20時(2日目は売り切れ次第終了)の福引きも好評です。

御神前での御祈禱は8時～21時までほぼ途切れることなく続きます。一番混雑する夕方は30～40人が一度に御祈禱を受けられますが、お一人お一人名前や住所などが奏上され、順番に玉串を奉てんされます。そんな丁寧さが喜ばれて、毎年受けられる人も少なくありません。

御本殿にお祈りしている主祭神は、大津乃命、応神天皇、神功皇后の三柱です。厄神さんは高良玉垂命という神様で普段は摂社の高良神社にお祈りしていますので、大祭日は御本殿へお遷りいただいています。なので、この二日間は合計四柱の神様が御本殿にお集まりになる特別な日。なんだか御利益も一段とありそうな気がします。厄年の人も、そうでない人も、ご参拝は厄除大祭がおすすです。(聞き手/西脇T.M.O広報部)